

## 第5学年国語科学習指導案

日 時 平成17年9月8日(木) 5校時

場 所 第一音楽室

児 童 5年1組 男17名 女18名 計35名

指導者 本宮 朋子

### 1 単元名 伝え合って考えよう

教材名 人と「もの」との付き合い方

### 2 単元設定の理由

#### (1) 児童観

子ども達は、5年上「インタビュー名人になろう」の学習では、あらかじめ決めておいた聞きたいことのみ尋ねてくるのではなく、相手の話を受け止めながら自分の聞きたいことを引き出すインタビュー活動を行い、相手に分かりやすく話したり答えを正確に聞いたりする学習をしてきている。

日常活動では、朝の会のスピーチタイムで、学級のみんなの前で発言する機会を設けてきた。

これらの学習や活動を通して、相手の目を見て話を聞いたり質問や感想を言ったりすることが少しずつできるようになってきているが、一問一答式で、話の深まりが得られないことが多く、立つだけで一言も話せなくなる子や単語で終わってしまう子もまだ数名いる。また、話し手の思いに共感しながら聞き、自分の考えを広めようとする子も一部にみられるようになってきているが、自分の伝えたいことを分かりやすく話すために、話の組み立てを考えたり具体例を入れたり、聞き手の反応を確認しながら話したりする子はほとんどない。よって、相手に分かりやすく話す力や相手の意図をつかみながら聞く力は、まだまだ不十分であるといえる。

#### (2) 教材観

本単元は、資料「ごみ問題ってなあに」をきっかけに、自分なりの課題をもって調べ、発表して交流し、まとめとして書くことを通じて、自分の生活の中での「もの」との付き合い方を見直すことを目標としている。

「話すこと」においては、自分の課題についての資料を収集し、組み立てを工夫して話すことによって、調べた内容や感想がクラスの友達に分かりやすく伝えることができると考える。また、「聞くこと」では、聞き取りメモを用い発表者の考えと自分の考えを照らし合わせるといった視点を与えることによって、話題のとらえ方の違いや共通点を明確にしながら聞くことができると考える。

以上のことから、児童に伝えたいことを分かりやすく話す力や相手の意図をつかみながら聞く力を育てるには、有効な教材といえる。

#### (3) 指導観

「話すこと・聞くこと」の言語活動への関心、意欲、態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手だてとして位置づけた。

関心を喚起させるために

- ・ 児童自身の身のまわりの出来事を思い出して話し合わせることで、環境問題は実は自分たちのすぐそばで起きているのだという認識をもたせる。

- ・ 江戸時代の日本やアフリカのマラウイの人々の暮らしが分かる拡大写真や絵を見せ、資料の内容を補足説明することにより、ごみを出さない社会の事例に興味をもたせる。
- ・ 発表がゴールではなく、「考える」ために「伝え合う」学習であることをしっかりとらえさせ、学習の見通しをもたせる。

意欲を持続させるために

- ・ 児童が主体的に調べられるように、関係のある本を教室にそろえておく。
- ・ グループを取り入れ、難しいと感じている児童も教え合いながら安心して学習できるようにする。

態度を育成するために

- ・ 発表会後の作文を家族に読んでもらい、感想を聞くことで成就感をもたせたい。

指導と評価の一体化を図るために

- ・ 毎時間自己評価を行い、次時の指導に生かす。
- ・ 評価基準をもとに個々を見取り、次の学習への手だてを明らかにし、指導する。

### 3 単元の指導目標

「ごみ問題ってなあに」をきっかけに、自分なりの課題をもって調べ、発表して交流し、まとめとして書くことを通じて、自分の生活の中での「もの」との付き合い方を見直すことができる。

### 4 単元の評価規準（B）

ア 国語への 関心・意欲 ・態度	関心	ごみ問題に興味を持ち、自分と「もの」との付き合い方について考えようとしている。
	意欲	自分の課題を解決するために、調査活動を行ったり、発表をしたり、それらの活動を経て深まった自分の考えを文章に書いたりしようとしている。
	態度	自分と友達のことを比べながら、自分の考えを深めようとしている。
イ 話す・聞く能力	構成要素	① 自分が調べてみたいごみ問題や、人と「もの」との付き合い方について、課題を見つけている。
		② 調べた内容や感想が相手に分かりやすく伝わるように、組み立てや資料の提示の仕方を工夫して話している。
		③ 自分の考えとの共通点や相違点を、明確にしながら聞いている。
ウ 書く能力		事実と感想・意見を区別しながら、自分の考えが明確になるように、組み立てを考えて文章を書いている。

5 単元の指導計画 (話す・聞く 9時間 書く 6時間 計 15時間)

時間	主な学習活動	具体の評価規準 (B) と【評価方法】	指導の手立て
一次	第1時 教科書を読み、身近な環境問題について話し合う。	アー ごみ問題に興味を持ち、自分と「もの」との付き合い方について考えようとしている。 【授業の観察】 【学習プリントの記述把握】	・身近な環境問題について、具体的な状況を思い出して話し合えるように、助言する。
	第2時 資料を通読し、人と「もの」との付き合い方について考え、自分の生活に照らし合わせて感想をまとめる。	アー 教科書の資料から事例や筆者の主張を読み取り、自分の生活と比べて感想を持っている。 【授業の観察・発言】 【学習プリントの記述把握】	・拡大写真などを用いて補足説明し、ごみを出さない社会の事例に興味を持たせる。
	第3時 自分が調べてみたいごみ問題や、人と「もの」との付き合い方について課題を見つけ、学習計画を立てる。	イー 自分が調べてみたいごみ問題や、人と「もの」との付き合い方について課題を見つけ、学習計画を立てている。 【学習プリントの記述把握】	・学習計画が書き込めるワークシートを用意し、主体的に学習を進められるように、各段階の終わりに書き込む内容を指示しておく。
二次	第4時 自分の課題を解決するために、各自で調べ学習を行い、必要に応じて結果を整理する。	アー 自分の課題を解決するために、計画にしたがって調べ学習を行い、結果を整理している。 【授業の観察】	・調べ学習に活用できる本のコーナーを設ける。 ・一人で調べ学習を進めるのが難しい子には、グループで取り組ませる。
	第6時 調べたことや考えたことをもとに発表メモを作成し、聞き手によく分かるように、話の組み立てを工夫する。	イー 聞き手によく分かるように、話の組み立てを工夫している。 【発表メモ】 【授業の観察】	・発表メモの並べ替えを実演して見せ、話の組み立てを変えると印象がどう変わるかに気づかせる。
	第7時 発表に必要な材料や調査結果を整理して資料を作成する。	アー 発表メモをもとに、必要な資料を整理して作成している。 【資料】【授業の観察】	・基本的な資料の作り方を示し、より効果的な書き方について考えさせる。

第9時 (本時)	発表メモをもとに、資料や写真、具体物を見せながら、話す練習をする。	イー 聞き手によく分かるように、資料を指し示しながら話している。 【練習の観察】【相互評価】	・よいモデルを提示し、発表のポイントとなる言葉を確認する。 ・相互評価カードを用意し、お互いにアドバイスさせる。 ・広い活動空間を確保するために、音楽室で行う。
第10時 ・ 第11時	発表を行い、自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞いて、自分の考えを深める。	イー 自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞き、メモを取っている。 【学習プリントの記述把握】	・聞き取りメモカードを用意し、自分のと比べての感想・意見を書かせる。 ・広い活動空間を確保するために、音楽室で行う。
三次 第12時	調査活動や発表会を経て深まった自分の考えを明確に表現するための文章の組み立てを考える。	ウー 自分の考えを明確に表現するための文章の組み立てを考えている。 【学習プリントの記述把握】	・発表メモや聞き取りメモを活用して文章の組み立てを考えられるように、組み立てシートを用意する。
第13時 ・ 第14時	自分の考えを文章にまとめる。	ウー 事実と感想・意見を区別しながら、自分の考えが明確になるように、組み立てを考えて文章を書いている。 【作品】 アー これまでの活動を経て深まった自分の考えを、文章に書こうとしている。 【作品】【授業の観察】	・事実と感想・意見はどのように書き分ければいいのか確認する。
第15時	書き上げた文章を友達と読みあって、お互いのよさを伝え合ったりする。	アー 自分と友達の考えを比べながら、自分の考えを深めようとしている。 【作品】【授業の観察】	・それぞれのよさを付箋に書いて作品に貼り、感想交流する時間を確保する。

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

発表メモをもとに、資料や写真・具体物を見せながら相手を意識して伝えたいことを話すことができる。

### (2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の工夫と評価
導入 5分	<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発表メモをもとに、資料や写真・具体物を見せながら自分の調べたことや考えを伝える発表練習をしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識 ごみ問題について自分の調べたことや考え・提言を友だちに伝えるため</li> <li>・相手意識 クラスの友だち、家の人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝えるということを意識して話すということをおさえる。</li> </ul>
展開 35分	<p>2 良い発表の姿を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意図が伝わるように話す時のポイントを確認める。</li> </ul> <p>3 1回目の発表練習をする。</p> <p>4 良い発表の紹介をする。</p> <p>5 2回目の発表練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生のモデル(VTR)を使って、資料や写真を見せる時のポイントを確認めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 資料を指し示しながら話している。</li> <li>* 「この資料を見てください」など、注意を促す言葉をつかっている。</li> <li>* 語りかけるように話している。(相手の反応を確認しながら)</li> </ul> </li> <li>・4人1組で、発表とアドバイスを交代しながら行う。</li> <li>・資料の下に評価カードをはり、誰がどんな評価を受けたかわかるようにする。</li> <li>・相互評価カードをもとに、お互いにアドバイスさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>評価イ-</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目の練習で弱いところを見取って、見る視点を与え、自分の発表に生かすように意識させる。</li> <li>・2回目のアドバイスは、1回目より良くなった点を言うようにする。</li> </ul>
終末 5分	<p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントに本時の自己評価をし、感想や友だちからのアドバイスも書き込む。</li> <li>・感想発表</li> </ul> <p>7 次時予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのアドバイスを参考に振り返りをさせる</li> <li>・次は、発表会をすることを伝える。</li> </ul>

( 3 ) 評価と支援

観 点	具体の評価基準	評価に応じた支援
イ -	<p>A 発表メモをもとに、資料を提示しながら聞き手の反応を意識して、話している。</p> <p>B 発表メモをもとに、聞き手を意識して資料を提示しながら話している。</p>	<p>A 本時のねらいに沿って、良いところを具体的に評価し、称賛する。</p> <p>C 発表メモをもとに、グループの子にアドバイスをさせる。</p>

( 4 ) 板書計画

人と「もの」との付き合い方

発表メモをもとに、資料や写真・具体物を見せながら自分の調べたことや考えを伝える発表練習をしよう。

相手を意識した話し方

内容が伝わる

- ・ 速さ（ゆっくり・間をとって）
- ・ 資料を指し示す
- ・ 「この資料を見てください」「語りかけている」
- ・ 聞き手の反応を確認しながら

発表練習の進め方

一回目

発表

アドバイス

二回目（ → 進む）

発表

アドバイス